

平成26年12月19日

北栄町議会  
議長 井上 信一郎 様

北栄町議会教育民生常任委員会  
委員長 町田 貴子

### 教育民生常任委員会調査報告書

本委員会は、次の事件について先進地の調査を終了したので、会議規則第77条の規定により調査結果を次のとおり報告します。

#### 記

##### 1 調査事件

###### (1) 県立美術館について

調査地 滋賀県立近代美術館 滋賀県大津市

###### (2) 地域支えあい作りの取り組みについて

調査地 滋賀県高島市社会福祉協議会 滋賀県高島市

###### (3) 避難支援、見守り支えあい制度について

調査地 滋賀県長浜市（健康福祉部） 滋賀県長浜市

2 調査期間 平成26年10月30日（木）～31日（金）の2日間

3 調査結果及び所感

## 【調査結果】

### ・滋賀県立近代美術館

開館 30 周年特別展「遊亀とゆき彦」の特別展が開催されていた。  
美術館の周縁は大学、図書館など文化ゾーンにあり、広々とした敷地に中庭もあり、多様な目的で多くの来館者がある。

### ・高島市社会福祉協議会

平成 17 年 1 月に 1 村 5 町が合併した市である。(高齢化率 30%)

高島市では 2025 年超高齢化社会を見据え、地域福祉推進計画の重点事業として掲げられた「見守りネットワーク活動」を、社会福祉協議会が行政と連携しながら、自治会・民生委員・福祉推進委員など住民も巻き込み呼びかけた。3 年あまりの歳月を経て、市全域に住民主体の取り組みとして広がり、福祉のまちづくりを進めている。(204 自治会中 74 自治会が取り組みに参加)

さらに住民福祉懇談会で自治会にアプローチ、見守り会議で専門職(医療、福祉関係者)、企業、商店なども参画し協議を図っている。「気になる人」を孤立させないため、地域ぐるみで「サロン」「100 円カフェ」などの居場所作り、見守り隊による要支援者への安否確認などの援助のほか、見守り訪問隊(自転車隊)で買い物、ゴミ出し、除雪などが行われている。また赤い羽根たかしま見守り募金で、啓発と費用の創出もされている。

### ・長浜市

平成 6 年及び 22 年、1 市 8 町が編入合併している。(高齢化率 25%)

長浜市の取り組みは、主に災害時の避難支援が目的で、425 自治会で「災害時要援護者台帳」での情報登録と申請者ごとに個別計画の作成がなされている。制度への登録は自主申告制で、自治会長、民生委員、避難支援者との情報共有については本人の同意が必要である。平成 20 年避難支援、見守り支えあい制度が創設され、現在 2,380 人が登録されている。

～イツモノの付き合いがモシモに生きる～ をキャッチコピーに地域ぐるみで支援の輪が広がっている。

## 【所感】

美術館は、身近に文化に触れ、想像力・感性を養い、まちづくり・人材育成・活性化にもつながる重要な施設である。北栄町に文化ゾーンの核となる美術館が建設され、コナンとコラボするなど町の独自性も打ち出せば、多くの訪問者があると思う。

高島市の見守りネットワーク活動は参考になる取り組みが多く、北栄町でも住民と一体化し、町民が積極的に関われるシステムづくりと情報発信が必要である。

長浜市は行政主体のイメージが強く、地域での自主性の確立が課題である。行政と住民との距離があるように感じた。